

# 環境科学科2年生

## ぎふ林業甲子園に出場



伐採予定の木の樹齢、価格を予想し発表する高校生＝美濃市曾代、県立森林文化アカデミー

### 熱闘 林業甲子園

#### 岐阜農林高が初優勝

県内4校競う

県内の高校生が林業の知識や技術を学校対抗で競う「ぎふ林業甲子園2024」が、美濃市曾代の県立森林文化アカデミーで開かれ、岐阜農林高校が初優勝した。林業への就職支援をする

県森林公社の「森のジョブステーションぎふ」（美濃市）が昨年から企画し、今年で2回目。岐阜農林、郡上、加茂農林、飛騨高山の4校から、林業を学ぶ2年生16人が出場した。大会は、獣害対策や伐採するの最適な木を選ぶ競技など8種目。午前中は屋外の演習林で行われ、「伐採木判定競技」では、生徒が課題に指定された木の樹齢や高さ、出荷時の価格を予想して発表し、より高く売れる木を見極める力を競っていた。午後はまき割り

などの屋内競技を行った。大会に参加した飛騨高山高校の宮下真理さん(17)は「習い事で山に入る活動を

していて、自然が好き。将来は林業関係で就職するのが夢」と話していた。(榎原あやな)